

令和7年度区民参加型予算事業における区民等からの事業提案等について

1 テーマ及び要件

「健康・ウェルネス～心身ともに健やかに～」をテーマに、身体的だけでなく、精神的にも健康であるための事業提案を募集した。提案事業の要件は、原則として以下の①から③までの全ての要件を満たすものとした。

- ① 「健康・ウェルネス」に関するもの（区が実施可能な事業に限る）
- ② 1事業につき2,000万円以内のもの
- ③ 原則として単年度事業であるもの

その他、詳細は「令和7年度杉並区区民参加型予算事業実施要項」のとおり。

2 事業提案の募集期間

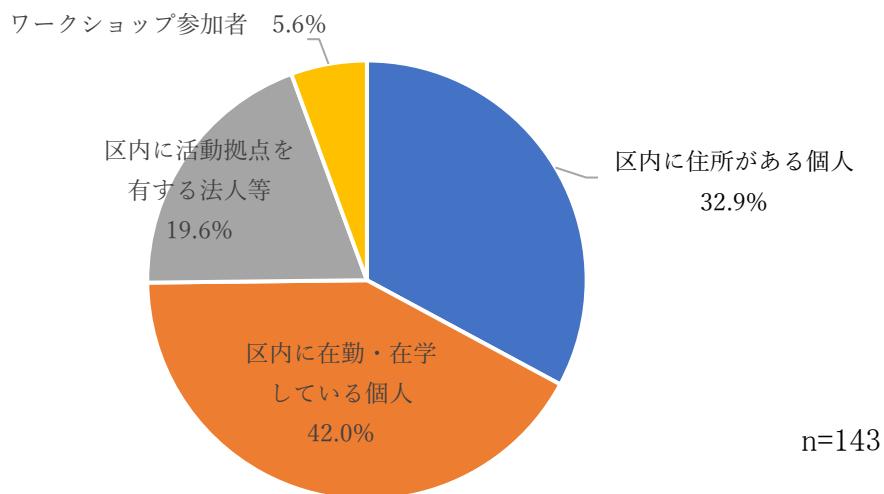
令和7年4月15日～6月30日

3 受付方法

インターネット又は郵送（ワークショップ参加者による提案を除く）

4 事業提案の件数

提案者の属性	提案件数	割合
区内に住所がある個人	47件	32.9%
区内に在勤・在学している個人	60件	42.0%
区内に活動拠点を有する法人等	28件	19.6%
ワークショップ参加者	8件	5.6%
合計	143件	



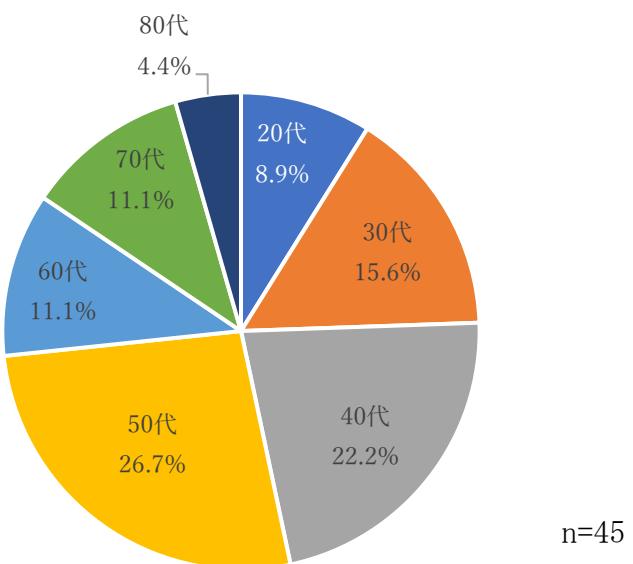
5 提案者の内訳

提案者の属性	提案者数	割合
区内に住所がある個人	45	33.8%
区内に在勤・在学している個人	60	45.1%
区内に活動拠点を有する法人等	28	21.1%
合計	133	

※複数の事業提案をしている者がいるため、提案件数と一致しない。

6 提案者の年代

区内に住所がある個人の提案者の年代	人数	割合
20代	4	8.9%
30代	7	15.6%
40代	10	22.2%
50代	12	26.7%
60代	5	11.1%
70代	5	11.1%
80代	2	4.4%
合計	45	



7 投票事業の選定

判断内容	件数	割合
第一次審査で「実施不可」とした提案	19	13.3%
第一次審査で「実施可」とした提案	124	86.7%
うち、第二次審査で選定した提案	11	7.7%
合計	143	

令和7年度杉並区区民参加型予算事業実施要項（以下、「実施要項」という。）6（1）に基づき、政策経営部企画課及び関係各課にて第1次審査をしたのち、実施要項6（2）に基づく杉並区区民参加型予算事業審査委員会による第2次審査を行い、投票事業を選定した。

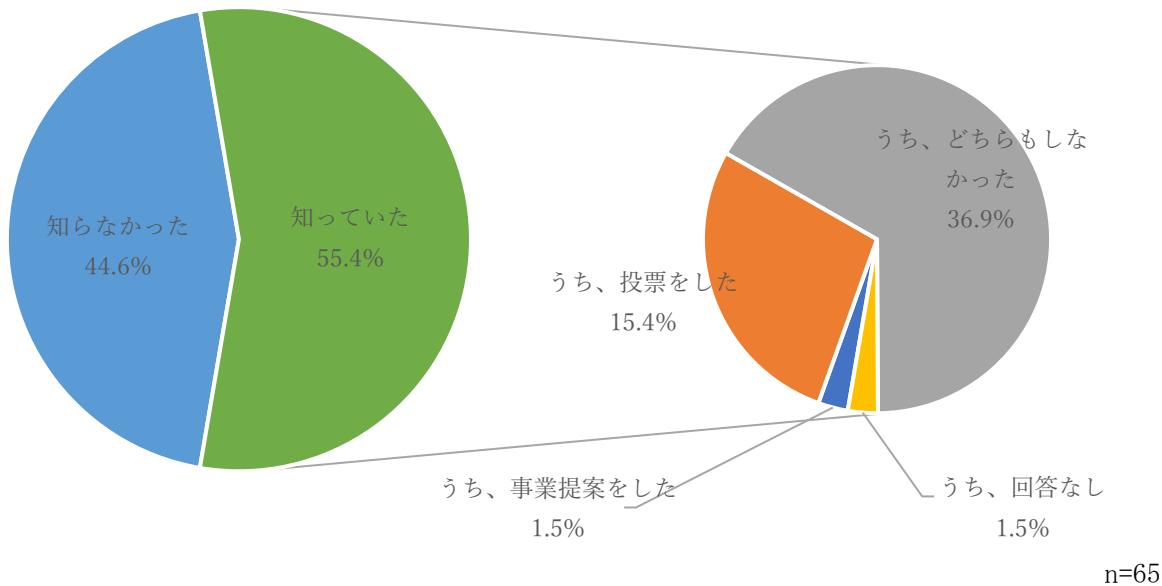
区民等からの提案の主旨を出来る限り実施につなげることを目的に、区で検討し、提案を統合した結果、10事業を区民投票に付した。

8 提案時に実施したアンケート項目集計結果

区民参加型予算事業を区が実施していたことを知っていましたか。
「知っていた」場合、令和5年度または令和6年度の区民参加型予算事業において、事業提案や投票に参加しましたか。

区民参加型予算事業を区が実施していたことを知っていたか。【アンケート】

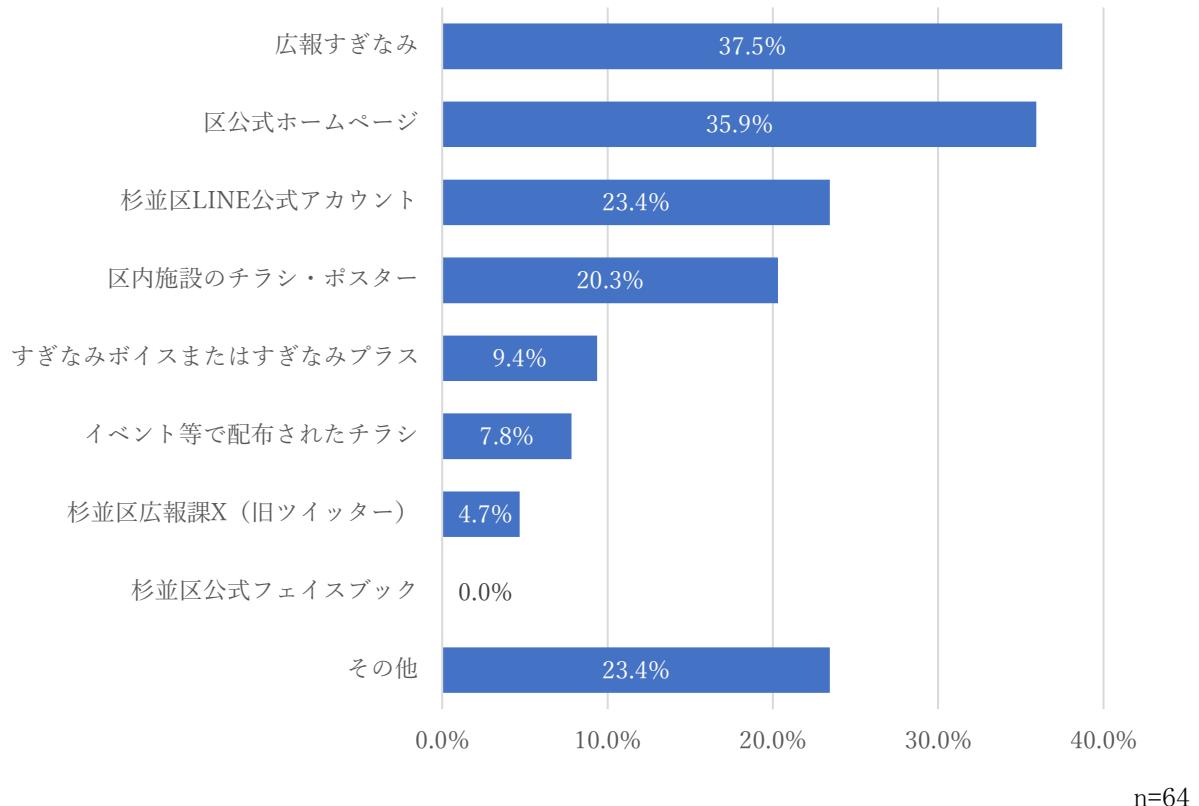
区民参加型予算事業の実施について	人数	割合
知っていた	36	55.4%
うち、事業提案をした	1	1.5%
うち、投票をした	10	15.4%
うち、どちらもしなかった	24	36.9%
うち、回答なし	1	1.5%
知らなかった	29	44.6%
合計	65	



令和7年度の区民参加型予算事業について、何で知りましたか。当てはまるものを全て選択してください。

令和7年度区民参加型予算事業について何で知ったか【アンケート・複数回答可】

令和7年度区民参加型予算事業について何で知ったか	回答数	割合
広報すぎなみ	24	37.5%
区公式ホームページ	23	35.9%
杉並区LINE公式アカウント	15	23.4%
区内施設のチラシ・ポスター	13	20.3%
すぎなみボイスまたはすぎなみプラス	6	9.4%
イベント等で配布されたチラシ	5	7.8%
杉並区広報課X(旧ツイッター)	3	4.7%
杉並区公式フェイスブック	0	0.0%
その他	15	23.4%
回答者数	64	



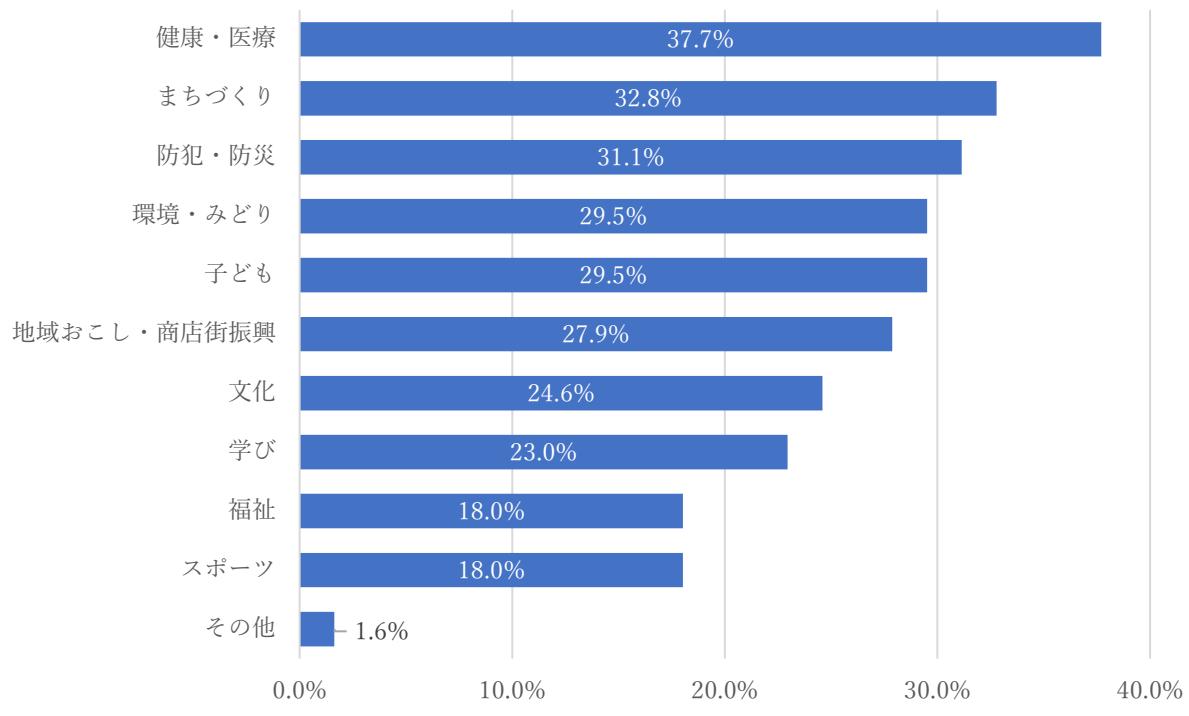
「イベント等で配布されたチラシ」のイベント名及び「その他」の記載内容

家族・友人・知人から
区職員から
健康づくりリーダーの会
すぎなみ協働プラザ
すぎなみ大人塾
杉並 JC の委員会
杉並区町会連合会常任理事会
大学の授業
駅のチラシ
区民センター協議会
外国人住民とともに多文化共生について考える

令和8年度以降に提案募集する場合、どのようなテーマが良いか、あなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

次回、どのようなテーマが良いか【アンケート・3つまで複数回答可】

実施してほしいテーマ	回答数	割合
健康・医療	23	37.7%
まちづくり	20	32.8%
防犯・防災	19	31.1%
環境・みどり	18	29.5%
子ども	18	29.5%
地域おこし・商店街振興	17	27.9%
文化	15	24.6%
学び	14	23.0%
福祉	11	18.0%
スポーツ	11	18.0%
その他	1	1.6%
回答者数	61	



「その他」の記載内容

アーバンスポーツの啓蒙及び普及

区民参加型予算の取り組みに関するご意見（自由記載）

※原則として、原文にて全文掲載しています。

とても素晴らしい取り組みだと感じました。

区民参加型予算は、地域の声を反映しやすくする非常に有意義な取り組みです。区民自身が課題を見つけ、解決に向けた提案ができることで、行政との距離が縮まり、地域への関心や主体性が高まります。ただし、もっと多くの人にこの制度を知ってもらうための広報活動の充実と、誰もが気軽に参加できる仕組み（例：説明会やサポート体制の強化）が今後の課題です。年齢や立場に関わらず意見を出せる環境整備を望みます。

初めて参加させていただきました。病気になってみて初めて思う、人の温かさや人の恩を沢山いただきましたので、少しの恩返しと思い区民参加型予算に参加しました。素人なので、予算はあまり知識がありません。また予算の都合上、実現には至らない事も出てくると思いますが、予防医療をする事により医療費を少なく出来るのなら幸いです。また、コロナ禍を過ぎて久しいですが、ストレスが溜まっている人が多い気がします。私が今、ストレス解消と、乳がんや両股関節人工関節置換え術後のリハビリ（自分ではリハビリと思っています。）と思い、ストレッチ体操を週1回のペースで妙正寺体育館に通っています。精神衛生に非常に良いと感じています。

とてもいい試みだと思います。区民が行政の施策に参加できる可能性を広げたのは、行政本来の在り方を示唆するものであり、区民の区政に対する関心もより高まり、地域全体が活性化していくのではないかでしょうか。

認知度が低い。単年度でできる事業に限定したら、限界がある（要は、ハコモノに特化しやすい）

とても良い取組みだと思います。区民が区政に关心を持つことで、一層住みやすい杉並区になると期待します。是非継続していただきたいです。

すでに実施したテーマ（環境関連：森林環境贈与税、防災関連）でも、再度、実施する際にはこのような参加型予算の形式（出来る限り、区民が予算の使い方や使用目的について、意見を述べる機会を設けるような方式）を探って欲しい。

素晴らしい取り組みだと思います。実際にそこで暮らし、働く者が日々不足・不都合・不安を感じていることを、生活者目線で改善・変更・実現できるチャンスを与えてくださるものと思います。さらなるご発展をお祈りします。

杉並区には素敵な人達が沢山います。でも出来る人達がいる所だけが活性化するのでは無く、杉並区全体が素敵になれるとなれば良いなと思います。「お互い様」の気持ちが沢山生まれると嬉しいです。新しい事業だけでなく、今ある機能の見直しもしながら一緒に考えて行けると良いと思います。それにはお互いを知り、一緒の目標に向かってそれぞれが出来ることを考える事だと思います。それが「協働」の形だと思います。杉並区は広いので、身近な地域で集まれる場（井戸端会議）が必要です。

様々な企画を行政内の部署でも協働できるともっといろんな事ができると思います。今後も宜しくお願いします。

こういった機会を設けてくださることに感謝します。

初めて知りましたがとても良い取り組みと感じています。

区民参加型予算は、今後も継続してほしいです。

区民が日常生活の中で、気が付き、思いつき、こうしたらより良くなるのではないかと、区政に意見として、提案することは大変に良い取り組みであると思います。ここで大切なことは、集まった提案をどう活かしていくかであります。数多くの提案の中から、投票対象事業案が選出されますが、これは誠に立派なことです。しかし、ほとんどのより多くの提案は、選出に至らず廃棄処分されるのでしょうか。そんなことがないように、選出されなかつた提案を一つ一つ再確認吟味して頂き、内容を整理し関連業務案を導き出して、区政の通常予算内での日常業務の一環として活用対応して頂ければと思います。このようにより良き方向に提案が活用されれば、提案者としても喜ばしい限りです。よろしくお願ひいたします。

このような事業を継続してほしいと思います。

区民参加型予算は、住民一人ひとりの声を区政に反映できる貴重な仕組みであり、行政と住民がともに地域課題を考え、解決に向けて動く土台になると感じます。特に今回のような生活に直結するテーマでの提案機会は、区民の主体性や地域への関心を高める良いきっかけになります。予算の使い道を“自分ごと”として考えることで、地域全体のつながりや自治意識の向上にもつながる重要な取り組みだと思います。

この提案型は字数の制限があり、本当の意味で伝えたいことが伝わらないとおもいますので、基礎情報と提案事業の内容について、もう少し字数を増やしてほしい。

『高齢者の為の企画』とか『ひとり親の相互協力システム』とか『こども食堂』などは必要ですが対象者を限定せずに皆で楽しめる企画も作りたい

区民参加型予算は、区民がまちづくりに参画できる、非常に素晴らしい仕組みだと感じております。本日グループワークの発表に参加させていただき、「孤立の問題」を課題に掲げるグループが多かつたことに驚きました。これは、多くの区民が抱える共通の課題だと強く認識いたしました。その中でも、私自身が経験し、強く問題意識を抱いているのは、65歳未満の単身者が、怪我や病気、入院といった緊急時に誰にも頼れず、先の見えない不安を抱えて生活している現状です。これは決して見過ごせない深刻な問題だと考えます。どうか、この予算編成を通じて、これまで支援の光が届きにくかつた単身者の具体的なニーズに寄り添い、「もしもの時も一人じゃない」と誰もが安心して暮らせる杉並の実現となることを、強く願っております。

とても良い取り組みだと思います。実施後に、どのような、またどの程度の効果がみられたのか（予想との違いも含めて）を検証し、公開することが必要だと思います。

一人でも多く、笑顔になれる政策をどんどん産出して欲しいです。のどかで住みやすい杉並区だからこそ、「マイナス要素」「ネガティブ発想」「忖度」より、「プラス要素」「前向き発想」「自由と可能性」になれるコンテンツを希望します。

杉並区の区民参加型予算は、日頃の課題として感じていることや、多様な声を政策に反映し地域課題の解決力を高める大変素晴らしい仕組みと感じました。今後はもっと若年層や子育て世代への周知強化、提案後の実施プロセス可視化による参加意欲の向上、そして実施事業の効果検証を丁寧に行うことで、更に信頼感と達成感を醸成し、持続可能な地域協働モデルとして発展していくってほしいです。

区の関係者の方は、情報を発信されている実感があると思いますが、きちんと情報を得ている方は区民の一部だと思います。見ても感心の無い方、情報を得る手段すら分からぬ方は大勢いらっしゃるはずです。区民全体に知らせる為には、通常の広報では全く足りていません。積極的に情報を取りに行く方には届きますが、それ以外の方には嫌でも目に入るという状況にして、初めて見てもらえる、読んでもらえるのが現実だと思います。また、投票に関しては、ネットと区の施設などだけが投票場所になると、日頃から施設等を利用する方達のみの偏った意見になってしまふ可能性があります。1人1票と厳密にすべきかという問題は考える必要がありますが、告知場所、投票場所については広くした方が良いと考えております。杉並区全域の交通機関、学校、スーパー、コンビニ、飲食店、デイサービスなどあらゆる場所にポスターを貼り、ポスターに投票QRコードを付ける、またポスターの下には紙でも投票出来る箱を置く事で、老若男女誰でも気軽に投票でき、この企画の周知もできるのでは無いでしょうか？ぜひご検討いただければ幸いです。

「審査の結果、提案が投票対象事業に選ばれなかった場合においても、貴重なご意見として今後の区政運営や予算編成の参考とさせていただきます」という趣旨に大いに賛同します。良い意見や声は区政にどんどん反映させるべきで、そのことが今回の取組の狙いと言えると思います。良いアイデアは種々雑多ですので、区政運営や予算編成の参考だけで終わらず、具体的な策として実現してこそ本来の意義を持つものと思います。ありがとうございます。

参加型、良い取り組みだな、と、興味を持ち、真剣に健康管理を学ぶことに関して伝えたところで、人に真剣じゃない人には通じないと思っていましたが、区長さんの顔を見て、この方ならわかってくれるかも、と応募しました。結局自分の利権、それはどの業界でもあることながら、いろんなバランスを取りながらもあきらめずにやってきた人は顔が違います。我が社は健康は運動だけでは、どうにも救えないと、健康経営エキスパートアドバイザー、栄養士、保育士、健康管理士、健康運動指導士、メンタルヘルスケアアドバイザー多数所属しているのですが、それは単なる運動商売ではなく、社会に役立つを目指し、運動だけではどうにもならないことを知ったからになります、セミナーもない、元気なお姉さんお兄さんが単発できてやる運動指導の機会は、単なるレクリエーションで終わってしまいます、大切なのは、なんで運動が必要なのか、その仕組みと理由を知ることです、合わせて、この企画にもあるように、健康は運動だけでは手に入りません、食も必須です、ということで、この案が通った際は、どうか人選を慎重に、モチベーションを引き出すには、しっかりと結果が出る取り組みとするには、有名な大手に任せるというざっくりなことより【人】です、誰が伝えるか、誰が教えるか、ここが大事です。ずっと心に秘めてきた企画、いつか学校を舞台に親子、おじいちゃんおばあちゃん、みんなで学べる機会があったら、みんなが元気になれる、強くなれる、と思った企画です、これから時代に必要な学び、杉並区からロールモデルになり、それが全国で広まつたら幸いです。